

学年	高校2年	教科	国語	科目	古典探究	単位数	3
教科書名		高等学校 古典探究 (数研出版)		副教材名	読んで見て覚える 重要古語単語 315 三訂版 (桐原書店) 新精選 古典文法 (東京書籍) 新精選 古典文法演習ノート (東京書籍) 古典文法習得のための助動詞マスターノート (数研出版) 精説漢文 (いっいずな書店) 精説漢文完成ノート (いっいずな書店) 漢文入門 (筑摩書房) 読み解く古典2 (浜島書店) プレミアムカラー国語便覧 (数研出版)		
コース・クラス		N進文系					

I. 目標

古典作品を読む能力を身に付けることを通して、ものの見方、感じ方、感じ方を広くさせ、古典に関心を持たせる。

II. 授業のねらい

- 1 古典文法や漢文句法に関する理解を深め、それらの知識を活かして古典作品を読み味わう力をつける。
- 2 思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。
- 3 古典作品に触れることで思想や人間のありようを知る。

III. 授業の進め方

- 1 文章内容の理解を主とし、発問形式による教授方法やグループ学習によって学習を進める。
- 2 古文では『新精選 古典文法』，漢文では『精説漢文』を主に使用して文法や句法の学習を進める。
- 3 副教材を適宜活用し、確認テストを実施する。
- 4 基礎学力到達度テストの出題傾向を踏まえ、必要な知識事項を確実に定着させる。

IV. 学習上の留意点

- 1 毎時教科書、ノート、副教材を授業前に準備し、机の上に置いておくこと。
- 2 教科書の新しい単元に入る際は、予習として語句の意味調べや作品の通読、書き下しを行うこと。
- 3 不明点はそのままにせず、授業後や放課後等を積極的に活用してすぐに解消すること。

V. 定期試験

- 1 学期 中間試験 : 『十訓抄』, 『説苑』, 古文単語, 初見問題,
- 1 学期 期末試験 : 『徒然草』, 『史記』, 古文単語, 初見問題,
- 2 学期 中間試験 : 『大鏡』, 『論語』, 『孟子』, 『荀子』, 古文単語, 初見問題
- 2 学期 期末試験 : 『源氏物語』, 『老子』, 『莊子』, 『韓非子』, 古文単語, 初見問題
- 3 学期 学年末 : 『更級日記』, 逸話, 古文単語, 初見問題

VI. 評価の方法

定期試験を中心に、小テストや提出物の状況を踏まえて総合的に評価する。

- 1 定期試験・授業内容をしっかりと理解し、それを応用することができているか。
- 2 小テスト・計画的に自学自習を行い、意欲的に小テストに臨むことができているか。
- 3 提出物・積極的に授業に参加し、課題に対して期限を守り、真摯に取り組むことができているか。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標	
一学期	4	説話『十訓抄』より「大江山」 ・和歌の修辞（掛詞） ・助動詞：る・らる	・小テスト ・提出物 ・定期試験	<ul style="list-style-type: none"> 敬語の基礎を理解し、人物関係に注意しながら状況を理解することができる。 当意即妙な和歌を詠めることが当時の人々にとってどのような意味があることなのかをふまえ、掛詞等の工夫を理解して和歌を正しく解釈することができる。 	
	5	・敬語法（敬語の種類） ・文学史（説話集）			
	6	故事『説苑』より「江南橘為湖北枳」 ・句法：疑問／反語、願望、使役 ・比喩の理解			<ul style="list-style-type: none"> 句法を把握し、正確な書き下し文をつくることができる。 作中の比喩を解釈し、漢文の文体に親しむ。
	7	随筆『徒然草』より「九月二十日のころ」 ・助動詞：まし・まほし ・敬語法（敬語の種類）			<ul style="list-style-type: none"> 反実仮想・願望の助動詞を理解し、現代語訳に反映できる。 作者が心をひかれている事柄を読み取ることができる。 『方丈記』冒頭も踏まえ、「無常」という考え方を理解する。
	8	史伝『史記』より「頭髮上指す」「四面楚歌」 ・句法：疑問／反語、抑揚、否定、詠嘆			<ul style="list-style-type: none"> 歴史の流れを理解し、登場人物の心情を読み取る。 作中の漢詩の意味を理解し、人物の心情を読み取る。
	8	『読み解く古典2』問題演習	・問題演習に取り組み、高1から夏までの基礎事項を確認する。		
二学期	9	歴史物語『大鏡』より「南院の競射」 ・敬語法（二重尊敬・二方向への敬意） ・文学史（歴史物語）	・小テスト ・提出物 ・定期試験	<ul style="list-style-type: none"> 古文特有の敬語の使い方を理解することができる。 貴族社会の常識や、貴族階級の人々の思想を理解することができる。 	
	10	思想『論語』『孟子』『荀子』より各一篇 ・句法：疑問／反語			・春秋および戦国時代の状況をふまえ、儒家の思想を理解することができる。
	11	物語『源氏物語』より「光源氏誕生」 ・助動詞：らむ・けむ ・文学史（物語）			<ul style="list-style-type: none"> 現在推量・過去推量の助動詞を理解する。 登場人物の心情を理解し、作品を読み味わうことができる。
	12	思想『老子』『荘子』『韓非子』 ・句法：願望、選択、二重否定、比較			<ul style="list-style-type: none"> 古代中国の歴史的背景を理解する。 それぞれの思想家の考えが反映された文章を読み、儒家との比較の中でそれぞれの特異性を理解することができる。
三学期	1	日記『更級日記』より「東路の道の果て」 ・陳述の副詞 ・終助詞 ・文学史（日記）	・小テスト ・提出物 ・定期試験	<ul style="list-style-type: none"> 陳述の副詞や終助詞を理解し、現代語訳に反映できる。 文学史を学ぶことで日記文学の性質と歴史的価値を学習し、『源氏物語』や他の平安文学作品との関りを理解する。 	
	2	逸話「知音」「梁上君子」			・漢文の句法を押さえつつ、寓話の意図を読み取ることができる。
	3	『読み解く古典2』問題演習			・基礎学力到達度テストに対応できるだけの古典分野の基礎力の定着度を問題演習を通じて確認する。

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。